



# 名古屋伝統の技も ファッションとして世界に発信

## オートクチュールならではのすてきなデザイン

ファッションデザイナーといえば若者にとって憧れの職業の一つです。優れたデザインが認められたならば、世界の檜舞台での活躍が待っています。有名デザイナーの一人に、日本デザイン文化協会（略称NDK）の理事長で、蝶のデザインで知られる森英恵さんがいます。NDKは昭和31年に文部省から社団法人に認可を受けた団体で、愛知県支部は昭和33年に設立されました。昭和30年代といえ日本が戦後の復興期から高度成長へと移行しようとしている時期でした。そして日本経済を牽引していたのが繊維産業でした。女性も社会へ進出し始め、ファッションへの関心も高まっていました。

いまではファッションデザイナーと実際の制作との分業が進んでいますが、生地 の性質や縫製の技術を十分に理解していなければ優れたファッションを作ることはできません。NDKの会員は生地 の選定、デザインから、最後の仕上げまでをこなすことができます、オートクチュールの集まりです。

## 最終の仕上げ作業をするデザイナーたち



ファッションデザイナーは時代の最先端を行くというイメージが強くあります。

しかしデザインが取り入れるものは新しいものというよりは、優れたものです。例えば名古屋には名古屋友禅や鳴海や有松の絞というすばらしい伝統工芸があります。こうした素材を使い世界の人々を魅了させるドレスなどの発表をおこなっています。平成7・8年にはロサンゼルスでのファッションショーで、鳴海絞でつくった約50点の服を紹介、平成16年にはNHKのドラマ「オーダーメイド」でストーリーに沿った衣裳デザインをおこない、会員もエキストラとして参加しています。平成17年には愛知万博に合わせて名古屋能楽堂で「和と洋の出会い」をテーマに全国のNDK会員約100名が、着物と洋服とが共存融合する独特の日本ファッション文化を広く内外に発信するため、150点の創作品をショー形式で発表しました。



そして平成23年には若い後継者の養成を目的に、第1回「NDKフレッシュコンテスト2011」を開催し、当地域の若い人達に夢と情熱を継承しました。

そして平成23年には若い後継者の養成を目的に、第1回「NDKフレッシュコンテスト2011」を開催し、当地域の若い人達に夢と情熱を継承しました。

### DATA ■日本デザイン文化協会愛知支部

所在地：千種区小松町 6-24

- ・昭和31年：日本デザイン文化協会（略称NDK：森英恵理事長）設立
- ・昭和33年：日本デザイン文化協会愛知支部設立
- ・平成7年、8年：ロサンゼルスで絞を使ったファッションショー
- ・平成17年：愛知万博に合わせて名古屋能楽堂でファッションショー
- ・平成23年：第1回NDKフレッシュコンテスト開催